



生活クラブまちづくり基金 寄付金分配報告

発行 生活クラブまちづくり基金運営委員会
発行責任 運営委員長 矢野克子

人と人がつながり誰もが助け合う「まちづくり」をめざし、活動する市民団体・市民事業を多様に生み出していくために、毎月100円の寄付で地域に必要なサービスの創出を実現したいと考え、生活クラブまちづくり基金は2024年10月から始めました。

今回、2025年度の決算を報告いたします。2026年3月末現在19,693人の組合員が参加しています。寄付金は広報費を除き、(公財)かながわ生き生き市民基金の「生活クラブ福祉たすけあい助成」と(一社)市民連帯経済つながるかながわの「生活クラブまちづくり基金助成」に活用されました。

毎月共同購入代金と合わせて引き落とされるあなたの「100円」がフードパントリー・不登校の子どもたち支援・無料学習支援・地域の市民事業創出を応援します。生活クラブでは参加率70%をめざし活動していますが、2026年3月末現在の参加率は22.7%です。

2025年度生活クラブまちづくり基金決算

収入	20,256,700円
毎月100円の集金分(2025年4月～2026年3月)	20,249,200円
組合員から任意の寄付	7,500円
支出	20,256,700円
広報費 ※生活クラブまちづくり基金運営委員会発行のチラシの作成・印刷代	396,331円
(公財)かながわ生き生き市民基金への分配 ※生活クラブ福祉たすけあい助成に配分	11,827,600円
(一社)市民連帯経済つながるかながわへの分配 ※生活クラブまちづくり助成に配分	8,029,669円
2024年度分配金未回収分	3,100円
合計	0円

生活クラブまちづくり基金の
申し込みはこちらから



お問合せ：生活クラブ生活協同組合
政策調整部 ☎045-474-0985



公益財団法人かながわ生き生き市民基金は生活クラブ神奈川の呼びかけにより、2013年に設立しました。生活クラブの組合員からの寄付を主な原資とした『福祉たすけあい助成』はこれまでに、25回実施されのべ317団体、9,700万円を助成してきました。

第25期生活クラブ福祉たすけあい助成(スタート助成)の助成結果報告

16団体に総額4,459,364円助成しました

地域で見えてきた課題に、市民自らが取り組む「市民事業や活動の立ち上げ」を応援するプログラムです。

最大3年間、伴走しながら活動を支えることができます。詳細は右の二次元コードをご覧ください。



<横浜エリア>	活動エリア	助成事業
フードバンクベイスポート	横浜市西区,中区	ひとり親家庭等のフードバンク事業
特定非営利活動法人 メンタルヘルス 共創拠点ピアウェル	横浜市西区	精神的困難者の地域生活を支える交流・調査等事業
緑道は宝	横浜市都筑区	情報発信、清掃イベント、緑道についての学習会
<湘南エリア>	活動エリア	助成事業
NPO法人だあれ ※助成2回目	二宮町	多世代交流と自己実現による町づくり事業
こだぬき会 ※助成2回目	秦野市	不登校の子が自然体験と交流を通じ学び育つ場
わわわのわ ※助成3回目	茅ヶ崎市	里山の地域性を活かした多世代の学び育ち合い
フリースペースいろえんぴつ ※助成2回目	平塚市	子どもが安心して過ごせる居場所の開設と運営
ゆがわら・まなづるchallenged ※助成2回目	湯河原町,真鶴町	障がい児者と家族支援事業、障がいへの理解促進活動
みんなの居場所☆まんま遊〜と ※助成2回目	南足柄市	空き店舗を活用した駄菓子屋を媒介とする常設型みんなの居場所づくり
わってらか ※助成2回目	小田原市	常設型まちの居場所
NPO法人 赤ちゃん食堂プロジェクト「まなま」 ※助成3回目	寒川町	赤ちゃん食堂新規開設支援・乳幼児支援モデル構築等
<さがみエリア>	活動エリア	助成事業
こむすび村	相模原市中央区	子育て中のリフレッシュを目的とした休憩時間の創出
一社) こどもの育ちねっと楡の丘	相模原市緑区	子ども・保護者のための日中の居場所づくり
えがわさんちの会 ※助成2回目	座間市	担い手育成と参加者増大の広報活動
ざま認知症コミュニティ	座間市	認知症当事者会の交流支援・認知症カフェ・公開講座実施
かながわ県医療的ケア児者家族会 〜つなぐ〜 ※助成2回目	神奈川県県央地区	ピアサポーター出向型地域家族交流会の開催